

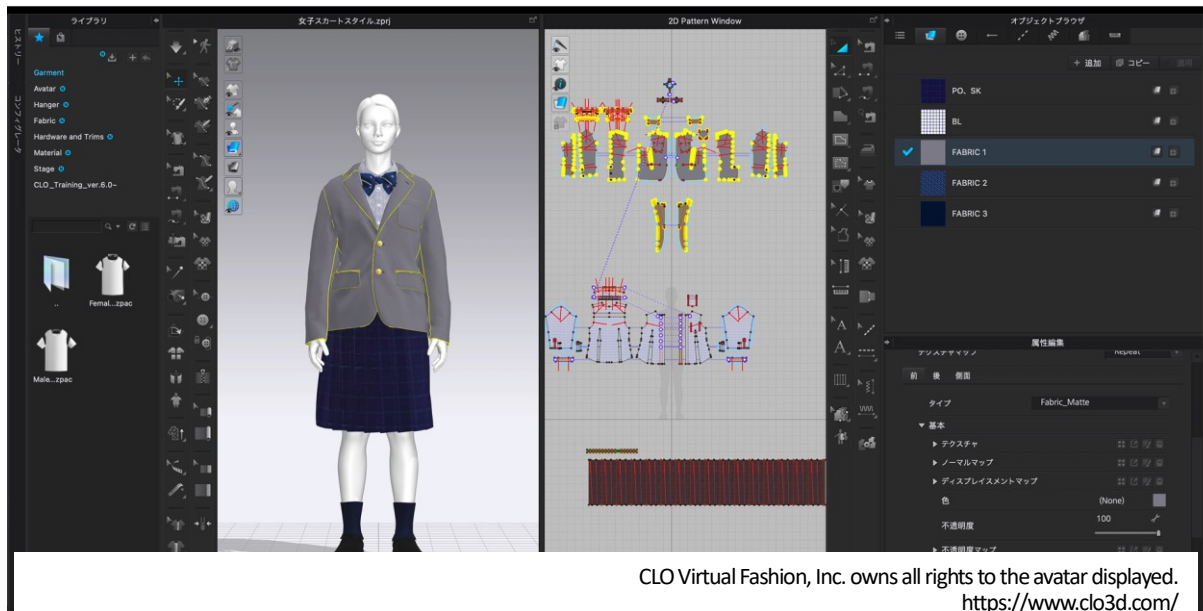
【当社のユニフォーム製作における DX の取り組みについて】

バーチャル3Dアバターの活用でサンプル作製数を削減、40%削減の事例も リモート採寸システムの導入により、ルートインジャパン(株)などの採寸コスト削減に成功

オンワード商事株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：村上 哲）は、サステナブルなモノづくりを目的に、一昨年からユニフォーム製作におけるデジタル化を開始し、現在まで取り組みを加速させてきました。この度、その取り組みや成果についてまとめましたので、お知らせします。

主な取り組みと成果

- 1) アパレル 3D 着装シミュレーションシステム「CLO（クロ）」を導入し、効率的なサンプル作製を実現。
- 2) サイズ推奨からオーダー集計業務までリモート採寸を実現する「UOS（ウオス）」を導入。適正サイズのレコメンド機能により、サイズ違い等のロスを減少。



▲「CLO」で二次元のデータを三次元化している画面

■ 取り組み詳細について

1) アパレル 3D 着装シミュレーションシステム「CLO」

【導入に至った背景】

2年前のコロナウイルス流行により、リモートワークやWEBプレゼンが徐々に増えるなどユニフォーム業界にもデジタル化が進んだことで、「効果的なプレゼンの手法」「他社との差別化」「サステナブルなモノづくり」を考えた結果、「CLO」の導入に至りました。

【成果】

1. サンプル作製数の削減

色・柄替えや仕様の修正を「CLO」上で即時に修正が可能になったことによりサンプル作製数を削減。当社の医療従事者向けカタログ「Raffiria（ラフィーリア）」の2022年度第1四半期社内サンプル検討会においても「CLO」を活用し、40%のサンプル削減に成功しました。

2. データの効果的なアーカイブ

実物サンプルは保存できるスペースや期限に限りがあり、廃棄してしまうため、2Dのパターンデータのみでは活用が限定的でした。実物サンプルがなくても3Dのデータが残るので、デザイン参考資料として活用しています。

3. バーチャル空間での表現・プレゼンテーションツールとしての活用

アバターにサンプルを着用させて動きやデザイン、店舗等の空間での見え方を確認することができます。そのため、同一空間で様々な年齢、性別、体型の方が着用しているユニフォームならではのシチュエーションをバーチャル上で表現することで、着用シーンを想像しやすいプレゼンテーションを実現しました。

【担当者コメント：ユニフォームプロデュース Div. 藤井大貴】

世の中のデジタル化が進む中、アパレル業界はデジタル化が遅れていると感じますし、次第にデジタルが、そして「CLO」を使うことが当たり前になるのではと考えられます。時代の波に乗り遅れず、ユニフォーム業界内でも先駆けとしてこの「CLO」を活用していくことで、他社との差別化を図ることが出来ると私は思います。「CLO」を今後も有効活用できるよう、社内体制を整え、当社の提案の1つの武器として活用していきます。



▲Raffiriaのメディカルウェアを着用した3Dアバター

2) サイズ推奨からオーダー集計業務までリモート採寸を実現する「UOS」

【導入に至った背景】

従来、企業や学校のユニフォームの採寸業務は、多くの着用者が集まって実際にサンプルを着用のうえ、データをアナログ集計しなければならなかったため、多大なる時間と労力がかかり、さらに手作業での集計による人為的なミスの発生も避けられない状況でした。そこでユニフォームの採寸やオーダー集計業務のデジタル化を推進するため、ユニフォームオーダーシステム「UOS」を導入しました。

【成果】

1. コロナ禍の三密を避けるリモート採寸が可能

機械学習アルゴリズム（AI）を用い、スマートフォン端末で撮影した正面と側面の全身写真から、腕の長さや肩幅などの体型を採寸します。従来のように会場に赴き対面で採寸することなく、リモートでの採寸を実現しました。



▲写真撮影画面のイメージ

2. データ化による作業時間の短縮

採寸会場の手配や時間調整、採寸スタッフの人件費、集計データの取りまとめなど、今までかかっていた時間・手間・コストを大幅に削減しました。

3. 人為的ミスと返品率削減

従来行われてきた紙や Excel を用いた採寸情報の管理は、人為的な作業ミスにつながるリスクがありましたが、「UOS」ならオーダー受付時に自動集計します。さらに生産サイズ明細の精度向上によって発注後の返品・交換を減らし廃棄数を削減しました。



▲レコメンド画面のイメージ

【導入企業様事例】

ルートインジャパン株式会社（ホテルフロント制服）

導入開始：2021年12月

ルートインジャパン(株)様コメント：従来まで採寸で発生していた経費（会場費・交通費）を大幅に削減することができ、システムについてもやり方の問い合わせもなくスムーズに運用できました。また、リモート採寸の利便性だけでなく、集計までできるということが良かったです。

【担当者コメント：ユニフォームセールス第1 Div.長 井本圭宣】

AI採寸・集計業務のデジタル化推進のため2020年より導入致しましたが、結果的にコロナウイルスの影響を受け、お客様の問い合わせ・反響が数多くあり、予想以上に伸びていると感じています。今後、「UOS」の利用をより促進することで、導入いただく企業様の時間コスト、肉体的コストの削減と、サステナブルなモノづくりの推進に努めてまいります。

■導入システムについて

・アパレル3D着装シミュレーションシステム「CLO」

国内販売代理店：株式会社ユカアンドアルファ（本社：東京都渋谷区）

URL：<https://yuka-alpha.com/clo/>

（導入時期：2021年3月）

・ユニフォームオーダーシステム「UOS」

提供企業：株式会社メイキップ（本社：東京都新宿区）

URL：<https://cl.unisize.makip.co.jp/lp/uos-company.html>

（導入時期：2020年10月）

オンワード商事のデジタルシステム

私たちが目指すのは、お客さまの想いを形にし、さまざまな課題を解決する一着。ユニフォーム製作におけるデジタル化を推進し、サステナブルなモノづくりを実現します。

PLAN
01

バーチャル3Dアバターの活用によるサンプル作製数の削減 CLO

再現性の高い3Dアバターをデジタル上で作成することで、カラーバリエーションをバーチャル上で表現。効率的なサンプル作製による廃棄削減が可能です。

PLAN
02

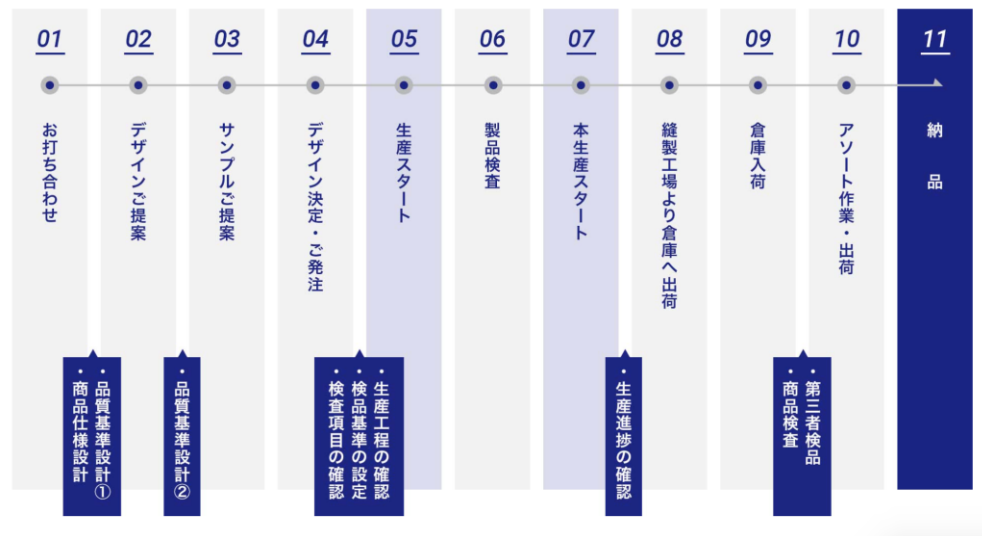
AIを用いたリモート採寸&自動サイズ集計 UOS

スマートフォンで写真を撮ることで簡単にレコメンドサイズを計測することができます。さらに生産サイズの精度向上によって返品・交換を極力なくし、廃棄削減につなげます。

▲導入システムに関する詳細

■当社のユニフォーム製作における取り組みページ

<https://www.onward-shoji.co.jp/business/original/>



▲納品までの流れ

(社内チームだからこそできる細やかな対応で、スムーズなユニフォーム製作を実現)

■オンワード商事株式会社 概要

「ヒトと地球（ホシ）の、明日（あした）の笑顔をデザインしつづける。」をパーパスに掲げ、法人向けにブランディングやセールスプロモーション、CSRなど、お客様の課題解決へのご提案を行っています。

代表者：代表取締役社長 村上 哲

所在地：〒102-8115 東京都千代田区飯田橋二丁目10-10

設立：1962年(昭和37年)4月23日

事業内容：ユニフォーム、セールスプロモーショングッズ、メンズウェア、ジュエリー、レディスウェア、雑貨、健康関連商品の企画・生産・販売、催事販売会開催・運営

URL：<https://www.onward-shoji.co.jp/>